

訓辞

本日、日本体育大学大学院にて、修士、博士の学位を取得された皆様、誠におめでとうございませう。体育科学研究科、体育学研究科、教育学研究科、保健医療学研究科を代表しまして、心からお祝い申し上げます。

本日、このときを迎えるにあたり、これまでの苦闘の日々に思いを馳せておられることであろう。様々な困難を乗り越えて、高い学識と研究能力を身につけてこられた努力に敬意を表します。それと同時に、これまで学位取得の皆様を支えてこられたご家族、関係者の皆様、ご友人の皆様へ心から敬意と祝意を表させていただきます。

本日、博士の学位を取得された方の中には、外国からの留学生の方が3名おられます。このことはまさに、本学大学院が世界規模で、人類共通の問題を追究していることを証明しています。留学生の方々は、本学から授与された学位に誇りをもって、次のステップに進まれて下さい。

さて、ただいま人類共通の問題という話が出ました。体育・スポーツも、教育も保健医療も、私たちの研究が関わる分野は、国境を超えて、世界の人々の願いに応える分野であることを、本日、修士、博士の学位を取得された皆さんへ、お伝えしたいと思います。

思い起こせば、本学の原点たる建学の精神は「體育富強之基」であります。この建学の精神が生まれたのは、1891年明治24年のことである。当時の人々が生きる大きな単位である世の中は、国家であった。したがって、体育は当時の最も重要な共同体であった国家のために必要とされました。時代は変わり、現在の私たちが目を向けなければならない共同体は、世界であり、自然をも含む地球全体を意味します。現代における「體育富強之基」は地球の生きとし生けるものの安寧のために、体育が必要とされる意味と考えられます。世界ならびに地球全体を強くすることが、現代の、これからの私たちに求められるのです。ではその、地球全体の強さとは何でしょうか。これも昔とは違い、現代ではさまざまな意味での強さが必要とされます。それは例えば、「しなやかさ」という意味での折れない強さ、弱い立場の人を守る強さ、急がずに成長を待つ強さなどです。世界は、そして地球は、今、そのような意味での強さを私たちに求めているのではないのでしょうか。言い方を変えれば、世界の中で言語や文化の異なる人々、不利な状況に置かれている人々、傷つき苦悩する人々、そのような人々の存在とともに生きてゆくことが強さであり、知性・感性・勇気・体力が強さの根源です。そのような地球、世界の在り方に貢献するのが、日本体育大学の学術なのです。本学で

修める学術は、まさにこのような意味での世界や地球という、大きな共同体の強さを発揮するためのものであると言えます。

学術において専門的な知識と方法は重要ですが、皆さんが修士、博士の学位を手にしたことの意味は、それらの修得に留まりません。修士、博士の学位を得るということ、自己の利益のためだけではなく、今述べた意味での「體育富強之基」を現実にしていくために、地球上で共生するための強さを発揮することに使ってください、皆さんに願います。

皆さんがこれまでの間、心血を注いで研究し、導き出した結論は、小さなものであっても、その研究成果は、皆さんが自分で考え、自分で悩み、自分で結論づけ、自分で成し遂げたものです。それは皆さんが本学大学院で全力を尽くした証であり、皆さんの実存であり、それは、学術の世界に貢献した証なのです。

その成果は、これからの職業生活、家庭生活、社会生活の中で、皆さんがしなやかに地球という共同体で生き、優しさとともに生き、世界や地球の持続に貢献する基礎となるでしょう。そのことが建学の精神である「體育富強之基」を背にうけて学問を収めたことの意味になるのです。

このような願いと期待を込めて、これまで私たちは、皆さんに厳しい指導を施し、厳正な審査を行い、自信を持って合格の判定をしました。

教職員一同、皆さんのこれからの活躍を願っています。

皆さんの人生に光りあらんことを祈っています。

令和7年3月15日

日本体育大学大学院 研究科長代表 関根正美